

統一要求・統一闘争で2013JR春闘を闘おう！⑭

新賃金・夏季手当妥結！

3月25日10時に通告！

本日10時、本部は2013年度賃金引き上げ、夏季手当等について交渉を集約し妥結を通告しました。

2月12日に『申第30号』として要求を提出して以降、2月18日の第1回団体交渉からスタートし、再申し入れについての団体交渉を含めて7回の団体交渉を開催し、満額回答を勝ち取るため闘ってきました。

JR東海の平成24年度第3四半期決算（連結）では、営業収益が前年同期比6.9%増の1兆1,995億円、純利益が前年同期比48.8%増の1,827億円を計上し、過去最高を更新しました。一昨年の中日本大震災による大幅な減収から、ここまで利益を上げてきたのは社員の努力によることはいまでもありません。

しかし、会社は「景気が不透明だ」「当社の賃金水準は相当高い水準だ」「ベアを実施する合理的理由がない」などと、ベアを実施するつもりがないことを盛んに主張していました。これで5年連続ベアゼロです。定期昇給は昇格試験に合格しないと減額していくため、たったの2,000円しか昇給しない社員も多く存在します。

夏季手当についても会社は「好調な業績は期末手当に反映させる考えである」と期待させながら「夏季手当のベースは2.7ヶ月である」として結局は去年の0.05ヶ月アップ、年末手当と同月数の2.95ヶ月分ではしかありません。しかし、会社には十分な支払い能力があります。それは好調な業績以外にも、1兆9,327億円といわれる内部留保、一人平均5,500万円という超高額な役員報酬が物語っています。一方で、物価上昇と公的負担の増加で、今後社員の生活がさらに苦しくなるのは明白です。皆さん！おかしいと思いませんか？

本部は、2013年度賃金引き上げ、夏季手当等のさらなる前進に向けて闘ってきましたが、JR東海ユニオンがベアゼロをいとも簡単に受け入れ、回答日に即日妥結をする中で、これ以上の前進は勝ち取れないと判断し妥結を決定しました。

妥結内容

1. 平成25年度新賃金
定期昇給のみ実施、標準乗数は4とする
2. 平成25年度夏季手当
2.95ヶ月分(基準内賃金及び補償措置額)
6月28日以降準備でき次第